

令和7年1月9日

都内私立中学高等学校  
校 長  
理科担当教諭 殿  
関係教職員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会  
会 長 近藤 彰郎  
東京私学教育研究所長 平方 邦行  
理数系教科研究会委員長 武藤 道郎  
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

## 理数系教科研究会（理科・化学）「講演会・情報交換会」 ～授業に役立つ化学史～

新春の候 先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、化学史学会副会長の河野俊哉先生（暁星中・高教諭）、東京大学助教の遠藤瑞己先生をお招きし、「授業に役立つ化学史」をテーマにして「講演会・情報交換会」を開催することとなりました。河野先生には、どのように普段の授業の中に化学史を取り込むか、DX(デジタル・トランスフォーメーション)や実験等の実践例も交えながらお話をして頂きます。また、遠藤先生には、ご自身のプロジェクトについてお話をして頂き、その後、参加者の皆様が化学史に関する普段から疑問に思っていることにお答えする時間を取りたいと思います。

校務ご多用とは存じますが、奮ってのご参加をお待ちしております。

### 記

1. 日 時 令和7年2月28日（金）18：00～20：15（受付開始17：30～）
2. 会 場 アルカディア市ヶ谷（私学会館）会議室
3. 研修テーマ 「授業に役立つ化学史」
4. 講師・演題 「化学の授業で化学史をどう扱うか—DX・実験・探究学習も含めて」  
河野 俊哉 先生 化学史学会 副会長、暁星中学校・高等学校 理科教諭

#### 【プロフィール】

化学教育に携わる中で化学史に関心（や疑問）を持ち、博士（学術）取得後、東大院研究員として科学史研究に携わる一方、早稲田大学、上智大学、法政大学等でも、科学史、理科教育法等を担当。10年以上にわたって科学史をテーマとして親子実験教室を開催。現在、化学史学会副会長、日本化学会・化学遺産委員。『化学史への招待』（オーム社、2019年）企画・監修・執筆。『化学と教育』誌において日本の化学史特集を企画・執筆中。



### 「日本版 Ask the Historian について」

遠藤 瑞己 先生 東京大学大学院理学系研究科化学専攻 助教

#### 【プロフィール】

分析化学研究の傍ら、近年は教科書掲載事項の歴史的背景を探る化学史研究を行い、得られた知見を日本基礎化学教育学会にて教育の現場に還元するプロジェクトを展開している。



5. 定員 50名（申し込み順⇒定員になり次第締め切ります）
6. 参加費 無料（当協会会員各校の拠出金と（公財）東京都私学財団からの補助金で運営しております）
7. 申込方法 2月20日（木）までに東京私学教育研究所 HP よりお申し込みください。

URL <https://k.tokyoshigaku.com>



8. 委員名（支部・学校名）

委員長 武藤 道郎（② 芝）  
 委員 久保田 港（② 芝） 長田 学（③桐朋女子）  
 宮本 一弘（⑤開 成）

東京私学教育研究所 理数系教科研究会（理科・化学）  
 担当：松田・岡沢  
 TEL 03-3263-0544

天候の悪化や各種災害、それに伴う公共交通機関の対応などにより、実施方法（オンライン研修を含む）プログラムの変更や中止（延期）となる場合があります。その際には web 申込時にご入力いただいたメールアドレスへ迅速にご案内させていただきます。

《会場案内図》



■交通のご案内

-  地下鉄 有楽町線 南北線  
市ヶ谷駅（I または A1）出口
  -  地下鉄 新宿線  
市ヶ谷駅（A4 または A1）出口
  -  JR 中央線（各駅停車） 市ヶ谷駅
- 上記改札・出口から徒歩約 2 分



ご案内 下記の研修会も現在、参加受付中です。詳しくは研究所ホームページをご確認ください。

研究会・研修会	テーマ・内容	日時	会場
理数系教科研究会 令和6年度「合同授業実践報告会」	教科横断的な授業実践・生徒の興味が高まる取組・ICT や実物教材を用いた取組の報告	2/17(月) 18:00～20:00	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)
プロジェクト部会 「AI活用実践ワークショップ」	授業事例の具体的な解説を通して	3/4(火) 18:00～20:00	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)
理数系教科研究会（理科・化学） 「実験研修会」	実験を通して考える高分子化合物の指導ポイント～水溶性高分子を用いた様々な実験～	3/22(土) 14:00～17:30	東京農工大学科学博物館 本館
令和6年度「私学教員のための組織マネジメント研修」	自分の理念に気づき、グループダイナミックスを学ぶ	3/25(火) ～26(水)	ミナカ小田原